

日本学術会議 科学者委員会 学術の大型研究計画検討分科会（第8回）  
議事要旨

日時 平成27年11月9日（月）16:30～18:30  
会場 日本学術会議 6-C (2)会議室  
出席者 相原委員長、永井副委員長、苧阪幹事、長野幹事、岩本委員、宮崎委員  
(V-CUBE)、嶋田委員、柴山委員、高原委員  
説明者 国立研究開発法人日本医療研究開発機構 末松理事長  
参考人 国立研究開発法人日本医療研究開発機構 板倉経営企画部長  
陪席 日本学術会議事務局（石井参事官、松宮参事官補佐、辻上席学術調査員、  
大橋専門職付、熊谷参事官付、鈴木参事官付）

配布資料：

- 資料1 第6回議事要旨（案）
- 資料2 第23期学術大型研究計画公募要領等（案）
- 資料3 国立研究開発法人 日本医療研究開発機構のこれまでの取組と課題
- 参考1 分科会委員名簿

議 題

- 1) 前々回 議事要旨（案）の確認  
原案通り承認された。
- 2) 前回の本分科会における意見交換について  
前回の本分科会は文部科学省/科学技術・学術審議会学術分科会/研究環境基盤部  
会/学術研究の大型プロジェクトに関する作業部会（ロードマップ作成委員会）と  
合同で委員会を開催したが、作業部会委員との意見交換に関するコメントを委員  
長から本分科会委員に求められた。特に、作業部会委員からコメントのあった「利  
益相反」、「公募の周知方法」、「選考の透明性」について議論された。
- 3) 公募資料について  
資料2-1から資料2-4の公募関連資料の内容について議論および修正が行われた。  
特に総事業費の額の区分けなどについて議論された。文言においては各資料にお  
ける整合性が調整され、また、審査体制は基本的にマスタープラン2014を踏襲す  
る事とされた。資料2-4をふくめ、各資料について次回までに各自詳細に検討す  
る事となった。
- 4) 日本医療研究開発機構理事長による説明  
資料3を用いて、「国立研究開発法人 日本医療研究開発機構のこれまでの取組と

課題」について末松理事長から説明があり、その後質疑応答が行われた。質疑応答には板倉部長も参画して日本学術会議が作成しているマスタープランについてもコメントがあった。

5) その他

次回は12月に開催するよう調整することとした。